



ビーム 中部	愛知	平成15年9月1日	No.2003-2
	岐阜・石川	社団法人 日本放射線技術学会	中部部会
	三重・福井	事務局：名古屋市東区大幸南1-1-20	
	静岡・富山	名古屋大学医学部保健学科	
		放射線技術科学専攻内	
		TEL/FAX：052-723-2566	
		URL：http://jsrttb.met.nagoya-u.ac.jp/	

会 告

(社)日本放射線技術学会中部部会
 部会長 成田 廣幸
 開催委員長 鈴木 昇一

(社)日本放射線技術学会
第38回中部部会 学術大会 開催通知

(社)日本放射線技術学会第38回中部部会学術大会を下記の要領にて開催致します。
 多数の会員の皆様をご参加下さいますようお願い申し上げます。

日時：平成15年11月15日(土)～16日(日)

会場：名古屋市立大学医学部研究棟11階 講義室

名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄1 TEL 052-853-8764

交通

駐車場がありませんので、地下鉄等の公共交通機関をご利用下さい。

- ・名古屋駅から地下鉄 桜通線『桜山』下車
- ・金山駅から市バス『市大病院正門』下車

参加登録費 会員 2,000円，学生無料， 非会員3,000円

(研究会のみ参加の場合も参加登録費を徴収させていただきます)

11月15日(土)

- ・各研究会開催，会員研究発表
- ・特別講演：17:00～18:00「情報記憶装置の今昔物語」
 講師：藤田保健衛生短期大学長 原 臣司先生
- ・懇親会：特別講演終了後を予定

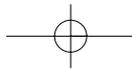
11月16日(日)

- ・会員研究発表
- ・ランチョンセミナー：12:00～13:00
- ・シンポジウム，モーニングセミナー：未定
- ・中部部会年会：部会長挨拶，本部理事挨拶，表彰式，次期開催地紹介

なお，プログラムなどの詳細は次号のビーム中部3号に掲載いたします。

日本放射線技術学会中部部会 ビーム中部 2003





(社)日本放射線技術学会中部部会 学術大会演題募集要項

以下のように学術大会会員発表の演題を募集致します。最近学生会員の演題が多くなっております。正会員の皆さまの多数の演題申込をお待ち致しております。

1. 発表方法(できるだけパソコンによる発表をお願い致します)

- 1) 発表時間 口述 7分以内 + 質疑応答 3分以内とします。
- 2) スライド 横位置スライドの一面映写で10枚以内にして下さい。
- 3) パソコン + 液晶プロジェクタ 一面映写で10枚以内にして下さい。
発表者はノートパソコンを持参してください。XGA(1024×768)またはSVGA(800×600), 入力端子: VGAコネクタ(ミニD-SUB15ピン)を使用します。
内容はスライドプレゼンテーションに限らず、動画やプログラムを実行していただいてもかまいませんが、発表時間は厳守して下さい。(ただし、接続がうまく行かなかった場合、発表時間の延長は行いませんので、あらかじめ接続テストをされることと、念のため発表スライドを持参されることをお勧めします。)
- 4) VTR 使用できません。パソコンを用いて動画を再生してください。

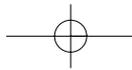
2. 応募方法

- 1) 応募資格は、中部部会正会員および学生会員です。
・まだ会員になられていない場合は、演題申込と同時に入会手続きを行って下さい。
・入会申込書は部会事務局にFAX又は電子メールで請求下さればお送り致します。
- 2) 発表希望者は演題申込書の様式で必要事項を記入の上、申し込んで下さい。
- 3) 演題申込: (できるだけ電子メールでお申し込みください)
・電子メール申込みの場合は以下の申込書の書式で必要事項全てをお書きの上、
『発表抄録をメール本文に書いて』お送り下さい。『添付書類は用いない』で下さい。
電子メールの題名(Subject)は『中部部会演題申込(発表者名)』としてください。
・郵送の場合は、発表演題抄録を『テキスト形式で保存した』フロッピーディスクを同封してください。(フロッピーは返却致しません)
- 4) 発表演題抄録: 【目的】【方法】【結果】【考察】を300~400字で簡潔にお書き下さい。これは事前に座長に送付すると共に、部会WWWページに掲載する予定です。
- 5) 受領確認: 電子メールで申込の方には発信アドレス宛に受領案内を3日以内にメールします。電子メールが正しく読めない場合も折り返し連絡させていただきます。郵送の方は演題申込書を受領後、2週間以内に受領ハガキを発送します。もし受領確認の連絡がない場合には 事務局: 津坂 までご連絡ください。
- 6) 学生会員の場合は指導教官の連絡先を記載して下さい。

3. 申込締切日 2003年9月30日(火) 必着 とします。

4. 申込先 〒461-8673 名古屋市東区大幸南 1-1-20
名古屋大学医学部保健学科 放射線科学専攻内
(社)日本放射線技術学会 中部部会事務局 宛
TEL & FAX 052-723-2566 E-mail: endai-jsrttb@met.nagoya-u.ac.jp
お問い合わせは、部会事務局までファックスか事務局: 津坂まで電子メールで
(tsuzaka@met.nagoya-u.ac.jp) お尋ね下さい。





(社)日本放射線技術学会 中部部会 演題申込書

(以下の形式で、メール本文に必要事項を記入下さい。添付書類では送らないで下さい)

漢字、ひらがな、カタカナは【全角文字】、数字、アルファベットは【半角文字】で記入してください。

演題申込書

演者(発表者)名:

施設名:

共同演者名(指導教官名):

施設名:

連絡先: 〒

TEL:

FAX:

E-mail:

発表形式: 1)スライド

2)ノートパソコン持ち込み

(持参するパソコン メーカー名: 機種: OS:)

---ここから下はそのまま使用させていただきますので、句読点、半角・全角に注意して下さい---

発表演題抄録

演題名:

演者・(指導教官名)・共同演者名:

施設名:

発表演題抄録(300~400字):

(記入例)

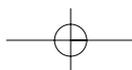
- ・演者名: 中部 太郎, 金沢 一郎*, **, *3
発表者に をつけ、共同研究者名をカンマ、で区切って下さい。
姓名の間は半角で1文字スペースをあけて下さい。
- ・施設名: 市民病院放射線科
* 厚生連 病院放射線科
** 大学医学部附属病院放射線部
*3 検査センター
(発表者と施設名の関連がよくわかるようにお書き下さい)
- ・発表演題抄録: 【目的】、【方法】、【結果】、【考察】を300~400字で簡潔にお書き下さい。数字、アルファベットは半角文字、そのほかは全角文字でお書き下さい。

メールの宛先: endai-jsrttb@met.nagoya-u.ac.jp (endaiとjsrttbの間はハイフン)

メールのタイトル: 中部部会演題申込<口述発表者氏名>

演題申込専用メールアドレスになりました。

複数お申し込みの場合は必ず 1演題1メールで区切って送信をお願いします。



掲示板

研究会のご案内

公開シンポジウム

「放射線診療における被ばくと対策」

- 国民の不安に答える -

主催 日本放射線技術学会, 医療放射線防護連絡協議会
 テーマ「病院における放射線の被ばくを考える」
 日時：平成15年9月27日(土) 13:00～17:00
 場所：高志会館(Kosikaikan) カルチャーホール
 〒930-0018 富山県富山市千歳町1-3-1(富山駅から徒歩7分)
 Tel:076-441-2255 FAX:076-441-1770
<http://www.koshikaikan.com/index.htm>

プログラム

第1部 基調講演 「放射線の被ばくとは」
 松原 純子 (原子力安全委員会委員長代理)

第2部 パネルディスカッション
 「病院における放射線と看護」
 ・病院における放射線の役割 近藤 隆
 (富山医科薬科大学 放射線基礎医学教室)
 ・放射線を安全に利用するために 中橋 ふみ子
 (西能病院、診療放射線技師)
 ・看護学科における放射線教育の現状 永山くに子
 (富山医科薬科大学 医学部・看護学科)
 ・放射線診療の現場における看護 西野 美千代
 (砺波総合病院、放射線科看護師)
 ・一般市民の立場から 一般市民
 ・話題提供 大野和子(愛知医科大学)

第3部 質問と討論

問合せ先 日本放射線技術学会事務局 075-354-8989
 医療放射線防護連絡協議会 03-5978-6433
 国立循環器病センター放射線診療部 栗井一夫 06-6833-5012
 富山医薬大附属病院 熊谷道朝, 新谷光夫 076-434-7814

中部部会 第19回画像研究会

デジタル画像系のDQE評価, 基礎と応用
 (1) IHE-Jの動向とメーカーの取り組み
 講師：コニカメディカルアンドグラフィック株式会社
 MI-CSセンター 金田 克彦 氏
 (2) DQEの基礎と応用
 講師：コニカメディカルアンドグラフィック株式会社
 開発センターMIシステムグループ 加野 亜紀子 氏
 CRおよびFPDなどのデジタルX線画像機器の急速な普及に伴い、デジタル系の画像評価の必要性、重要度が増しています。デジタル画像のDQE評価について、基礎から測定法までわかりやすく解説していただきます。
 日時 平成15年9月27日(土) 14時30分～17時00分
 会場 名古屋市立大学病院 5階講義室
 会場案内は、当日病院入口に掲示いたします。
 (今回の会場は、病院5階ですので御注意ください！)
 問合せ先：安城更生病院 澤田道人 0566-75-2111(内線2254)
 E-mail : dojin-s@kosei.anjo.aichi.jp

中部部会 第16回MR研究会

日時：平成15年10月25日(土) 午後3時から6時まで
 場所：福井県国際交流会館
 (<http://www2.interbroad.or.jp/fia-net/>)
 タイトル： 本日に明日から役立つMR撮像テクニック
 ～スイッチマンからテクノロジストへ～

会場費：¥500(会員, 非会員共通)

- 臨床講演 救急領域のMRI
 福井総合病院 放射線科 岩崎俊子先生
 - 技術講演 役立つMR撮像テクニック Philips(未定)
 - 技師講演 各施設での工夫, 現状
 福井県済生会病院 牧野 良孝君
 使用機種 東芝VISART, フィリップスintera
 福井医大病院 北森 延君
 使用機種 GE Signa ver5.8
 公立松任石川中央病院 (未定)
- 終了後に親睦会(当日受付可, 別途会費)を予定.
 問合せ先: MR研究会北陸ブロック世話人 森 光一
morik@fmsrsa.fukui-med.ac.jp

愛知県マンモグラフィ講習会のご案内

乳がん死亡を抑制するためにマンモグラフィ検診が導入されていますが、その精度管理は重要です。今年度も下記のように愛知県マンモグラフィ講習会が開催されることになり、実行委員会が立ち上げられました。皆様、ふるってご参加ください。(日本放射線技術学会中部部会共催)
 マンモグラフィ講習会実行委員会委員長 遠藤登喜子

- 予備講習会
 日時：平成15年12月7日 9:00～17:00
 会場：国立名古屋病院
 外来管理棟5階 講堂・特別会議室・第1会議室
 対象：医師, 診療放射線技師
 内容：共通：乳房の解剖, 疾患および病理
 良い画像と悪い画像
 読影部門：乳癌の患者と検診とのかわり
 マンモグラフィの基礎, 読影の基礎
 技術部門：乳癌の臨床, マンモグラフィの基礎
 参加費：無料
- 本講習会
 日時：平成16年2月21日8:50～, 2月22日16:00頃まで
 会場：国立名古屋病院 外来管理棟5階
 講堂・特別会議室・第1会議室・地域医療研修センター
 対象：医師, 診療放射線技師
 内容：共通：
 乳がん検診へのマンモグラフィ導入と精度管理
 乳癌の臨床, マンモグラフィの基礎
 読影部門：乳癌の病理と画像
 マンモグラフィ所見用語とカテゴリ
 テーマ別読影グループ講習
 技術部門：読影の基礎とカテゴリ
 画像評価, テーマ別グループ講習
 受講料：読影部門4万円(予定), 技術部門2万円(予定)
 受講申込に関する情報：決まり次第公示します。
 本講習会はマンモグラフィ検診精度管理中央委員会
 教育・研修委員会の認定講習会となる予定です。

**(社)日本放射線技術学会中部部会
 ビーム中部 第2号**

発行： 部会長 成田廣幸
 編集： 津坂昌利, 小山修司, 国友理香
 印刷：名古屋大学消費生活協同組合印刷部